



常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・質疑等の内容を要約して掲載しています。
- ・委員会記録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

企画総務委員会

中核市移行推進事業について

Q 概ねの移行スケジュールを問う。

A 移行スケジュールは「移譲される事務の精査」「市の実施サービス・保健所設置の検討」「議会への提案」の順で進める予定です。移行の時期は、県との協議次第ですが、議会の提言にもありました市制施行100周年を目標として検討します。

VR動画活用事業について

Q 当市への就職を促すために市役所の業務を紹介するVR動画を作成し、名古屋大学周辺等全国14カ所にある「知るカフェ」で見ることができるようにするとの説明があった。地方自治体初となるVR動画の導入はインパクトがあると思うが、VR動画配信サイトでの配信を実施する予定は。



A 配信は行う予定です。ただし、視聴には専用のVRゴーグル等が必要となります。

Q 災害疑似体験のVR動画は出前講座でも使用するのか。

A 出前講座のほかに総合防災訓練や連区の防災訓練での活用を予定しています。

第三者相談委員会開催事業について

Q 市職員による市民への対応でトラブルが発生し、解決が困難な場合に開催する委員会の委員を、法律の専門家である弁護士でなく行政相談委員とする理由は。

A ある事柄が合法か違法かの判断を仰ぐための組織ではなく、市民と市との間で認識や考え方にずれがあり、議論がかみ合わない場合に、相談をするためのものだからです。

Wi-Fi整備事業について

Q この事業は防災・観光など多目的であるが、防災に重点を置き、避難所に指定されている学校の体育館への整備を優先すべきではないか。

A 防災という面では体育館が優先と考えますが、設置予算に限りがあること、また、平時により多くの市民が利用できること、さらに施設側の希望を踏まえ、まずはインターネット回線が既にある施設に整備をします。

福祉健康委員会

木曾川老人いこいの家の介護予防交流スペース整備について

Q 休止中の入浴施設を介護予防・地域交流スペースにするとのことであるが、施設利用者の意見は反映されているのか。また、今後、同様の施設に対する市としての考えはどうか。

A 施設利用者だけではなく、木曾川町の老人クラブや一宮市高齢者福祉計画策定の際に、高齢者を対象にアンケートを実施しました。他の施設については、利用状況や修繕費用、今回の事業の成果等を勘案して検討してまいります。

奥町西保育園の乳児保育施設整備について

Q 過去に乳児保育が廃止になった奥町西保育園で乳児保育を行うとのことであるが、これは地域からの要望によるものか。

A 地域の要望ではなく、近隣の保育園での乳児保育が早い段階で定員に達するため、その対策として、乳児保育を開始するものです。また、幼児の入園者数は奥町東保育園に比べ余裕があるため、乳児保育が開始できれば幼児保育の申し込みもつながり、入園者数の平準化も期待できます。

意見 乳幼児保育は地域の実状や要望を把握して進めてほしい。

保育所等施設総合管理計画策定業務について

意見 木曾川町には非常に古い木造の保育園がある。総合管理計画策定時には、他の保育園と同様の良い環境で子供達を保育できるようにしてほしい。

介護保険料の引き上げについて

Q 介護保険料には市の独自の減免制度があるが、さらに拡充する考えはないのか。

A 第7期高齢者福祉計画で定めた介護保険料では、現状の独自減免を継続していきます。また、介護保険における所得の考え方が変わること、どのような影響がでてくるかを注視しながら来期以降に検討します。

意見 被保険者の心情を察すると、介護保険料の引き上げとなる、議案第5号、議案第34号には賛成できない。

その他の意見

議案第1号、議案第3号、議案第4号、議案第33号は賛成できない。

経済教育委員会

学校給食の配送業務について

Q 共同調理場で給食ができてから学校で児童・生徒が食べ始めるまでの時間は2時間以内と定められているが、現在の配送体制でそれは守られているか。

A 配送車両を以前より増やしたことにより、2時間以内に食べ始めることができているとされています。



Q この業務の委託料は平成29年度より大幅に下がっているが、どのような理由からか。

A 従来の業者との委託契約が平成29年度で終了するため、新たな契約締結のための入札を行いました。これに2つの事業者が参加した結果、競争原理が働き、委託料が抑えられたと考えています。

Q 業者が交代することにより、配送業務に支障は生じないか。

A 新しい業者は県の学校給食食会などで既に配送を受託している実績のある企業です。3月中に配送ルートの引継ぎと確認を行う予定です。

小学校の空調設備整備事業について

Q 空調を稼働させる燃料費は年間どれくらいになるか。

A 年間で3500万円を見込んでいます。

Q 施工及び維持管理において契約する協力企業の中には、市内の企業がどれほど参加する予定なのか。

A 施工は18社のうち12社、維持管理は2社のうち1社が市内の企業を予定しています。

Q 室内機の工事は夏休み中に行われるとのことだが、出校日はどうなるのか。

A 作業工程は必ず事前に学校側と相談して決定することになっていきます。出校日はできる限り工事のない日となるよう調整してまいります。

空調の設置により小・中学校の環境が良好となることと休業日や授業の計画はどう変わるのか。

A 休業日をどのように設けるか、また、



夏休み前後の1週間に行っている短縮授業のあり方についても今後検討してまいります。

企業の誘致について

Q 企業立地奨励補助金の活用状況はどうか。

A この補助金は平成14年度から続けており、補助金額が3億円を超える年度が4回ありました。平成29・30年度も超えており、進出企業の活用度は非常に高いと考えています。

Q 企業誘致の今後の見通しはどうか。

A 当市に進出予定の複数の企業から、平成31年度分の企業立地奨励補助金の利用についての問い合わせもあり、企業誘致は好調を維持していると考えます。また、平成32年度には（仮称）西尾張インターチェンジが完成予定ですので、その周辺を、主に製造業及び物流業の利用を図る、当市の5番目の指定区域とするため、関係部署と連携を進めてまいります。



建設水道委員会

都市計画マスタープランの見直しについて

Q 第7次総合計画を踏まえ、都市計画マスタープランを見直すとのことだが、第6次総合計画からの課題となっている「総合的な土地利用を推進し良好な都市環境をつくる」には、具体的にどのように取り組むか。

A 商業施設や工場・住宅といった用途の異なる建物の混在を解消するため、都市計画マスタープランを高度にした立地適正化計画の策定を引き続き進め、さらに用途地域についても見直しを検討してまいります。

EU国際都市間協力プロジェクト事業について

Q この事業の内容はどのようなものか。

A 一宮市とギリシャのイオアニナ市がペアを組み、相互訪問による会議等を通じてさまざまな課題を定め、問題解決のための取り組みや成功事例について互いに学びの場です。



ギリシャ・イオアニナ市 市章

この事業により、広くヨーロッパのまちづくりを学びきっかけにしてまいります。

公園施設長寿命化対策・安全安心事業について

Q 公園の安全安心事業の具体的な整備の内容、また今後はどうに進めていくのか。

A 高齢者や障害を持った方が公園内を支障なく移動できるように、園路や広場、便所、駐車場のバリアフリー化を行います。

一宮市ではすでに園路や広場、駐車場では国が設定したバリアフリー化の目標値を達成しており、便所でもその目標値にかなり近づいて来ています。引き続きその達成に向け整備を進めてまいります。

佐千原浄水場第2ポンプ棟建設事業について

Q なぜ耐震補強ではなく、新たなポンプ棟を建設するのか。

A 耐震補強を行うためには、工事中に稼働を停止しなければなりません。しかし佐千原浄水場では多くの水を供給しているため止めることはできません。そこでポンプ棟自体が老朽化していることも考慮し、新たなポンプ棟を建設し稼働を切りかえるものです。

